

8月2日（水）英国人学生とのディスカッション&スポーツ交流会

この日から同年代の英国人学生6名がクラスアシスタントとして授業に加わってくれました。同年代の英国人と話す機会が増えて、授業も更に楽しくなっていることと思います。会話練習の相手だけでなく、各自のテーマについて調査をするためのフィールドワーク、原稿作成、発表練習までサポートしていただきます。



午後は英国人学生を招いて、ディスカッションとスポーツ交流会を行いました。まずは、2～4人で1グループを作り、それぞれに分かれ、英国人学生とたくさん話をしました。今までに行ったことのある国、一番好きな食べ物や科目、日本とイギリスのポップカルチャーについて等々、頭をフル回転させて一生懸命に質問をしていました。なかなか思うように言葉が出ず、考え込んでしまうシーンもありましたが、同世代ということもあり、すぐに打ち解け、盛り上がっていました。



生徒たちにとっては、同年代のネイティブスピーカーに自分の英語がどれくらい通じるのかを知ることができる良い機会になりました。「なかなか伝わらないな…」「聞き取れないな…」と思ったことはもちろんあったと思いますが、その悔しさを今後のモチベーションにつなげて欲しいと思います。反対に、「自分の英語でもここまで通じるんだ」と自信を持ったシーンもあったのではないかと思います。

休憩の後は、スポーツ交流をしました。一緒にスポーツやゲームを楽しみながら、知らず知らずのうちに実践的な英会話の練習を行うことが目的のひとつでした。生徒たちと英国人学生との混合で4チームに分かれた後、ウォーミングアップを行いました。スポーツが苦手な生徒でも参加できるようなゲームを企画していただき、「日英運動会」を楽しむことができました。

最初の種目はバルーンリフティングでした。各チームが円になり、バルーンが地面に落ちないように、体の部分を上手に使えるかを競うゲームです。最初は手を使ってもオッケーでしたが、その後は肘・頭・脚など、どんど

ん難しくなりました。

その後は色々なリレーを楽しみました。例えば「スプーンレース」。スプーンから卵を落とさないように気をつけながら走ります。途中で卵が勢い良く飛び出し、遠くまでに飛んで行ってしまふ姿に、大きな笑いと歓声が飛び交いました。次に「2人3脚リレー」です。英国人生徒とペアを組み、「ワン、ツー、ワン、ツー」と一生懸命に息を合わせます。なかなか上手いかず、肩を組んでケンケン状態になりながらも、どうにか頑張ってゴールするペアもありました。

3種目目は、「ドッジビー」。フリスビーを使用して行うドッジボール形式のゲームです。「大縄跳び」では、チーム全員で、1分間でトータル何回跳べるかを競い合いました。練習時間ではタイミングが合わず、1回跳ぶだけでも苦戦するチームもありました。しかし、徐々に“意気投合”して40回以上連続して跳べるようになりました。



最終種目の「綱引き」では、女子対男子で本気の対決をしました。女子の人数の方が圧倒的に多かったですが、息を合わせた男子チームの勝利でした。グループ優勝は「Blue」チーム。表彰式ではLynne先生からお菓子が贈られました。文化や言語の違いを超えて、一緒に体を動かし、共に楽しんだ交流会は、貴重な体験となったことと思います。

